「森のギャラリー・自習室」においての学習経験

森のギャラリー・自習室利用日　2019年3月31日(日) 16:00

リポート提出日　2019年4月6日(土)

英語道弟子課程　弟子・　H.K.

2019年3月31日(日)は16:00より、「森のギャラリー・自習室」の使用について、許可を賦与していただきまして、ありがとうございました。

これまでに数回、森のギャラリー・自習室を使用させていただき、毎回、自分自身でも驚くほど集中し、筆が進む、という経験を何度もさせていただきました。このたびは、さらに印象深い経験をさせていただき、そのことを自分用にメモして残しておりましたので、そちらを参照しながら、当日、森のギャラリーにおいて経験した学習経験について、リポートさせていただきます。

こちらのリポートも、なるべく、使用前後の自分の思いはあまり出さないようにし、経験したことだけを書かせていただきます。

当日は非常に良いお天気で、森のギャラリーは、窓が全開されており、とても気持ちが良かったです。

ですが、私の花粉症のせいで閉めていただくこととなりました。折角の、先生からの自然な空気を経験し、新鮮な空気を体中で吸うというプレゼントであったのに…、私は、もっと強く、閉めなくて良いこと、開けておいていただきたいこと、私の花粉症は気にしないでくださいと言うべきでした。その後私は座ったまま御礼を言うという失礼な態度を取り、あとで後悔の元となりました。申し訳ありませんでした。

森のギャラリーは、その後、窓が閉められていたのですが、室内にいる気が全くしませんでした。すぐ傍に先生がいるという緊張感を感じながらも、大きな、先生の、大きな愛情の下で、ここで勉強させていただけるのだ、と、一歩引いて見ていました。

森のギャラリーの目の前にある空気感を存分に味わいました。何も無くて、すぅーっとした空気感です。東慶寺で感じた空気感の感じと同じでした。東京のどこの場所(自然、公園)でも感じられない、混ざり気のない、空気です。崇高な空気感でした。今まで私は感じられていなかったのか？　と疑問を持ちました。

何にも無くて、すぅーっとしていて、みずみずしくて、潤っていました。飲み物とか、いらない、と思いました。この空気をゴクゴクと飲ませていただいているという感じがするのです。水気をたっぷりと含んだ空気です。でも、私が自宅で加湿器を長時間点け放しで湿度が上がるのとは訳が違います。そのような湿度の高い空気ではありません。

Date

この空気を飲んでいる、飲みながらここにいる、という感じでした。
いるだけで、自分自身が浄化される感じがあり、ずっとここにいたいと思いました。

何かの感覚に似ていたので、探っていたのですが、今日わかりました。

海の中にいて、私が魚になっていたような感覚でした。
もちろん、魚になったことは無いですが…　海の中はとても気持ちがいいと思います。そんな感じです。もうその中で呼吸して、水も飲んでいるので、気持ちが良いのです。

そのような環境・雰囲気・空気感の下で、60分を過ごさせていただきました。

窓が開いていたら、外にある外気を取り込み、自然を感じることができたと思いますが、閉めていただいた森のギャラリーだけの空間は、自然よりも自然でした。森のギャラリーは、生井利幸先生でした。

非常に恵まれた環境下において、勉強させていただきまして、
本当にありがとうございました。